

第109回 埼玉県内企業経営動向調査－2019年10～12月期－

調査対象：県内企業 549社 調査方法：アンケート方式（11月上旬 郵送回収）
 回答企業：198社(回答率 36.1%) 業種別内訳：製造業 114社 非製造業 84社
 調査分析方法 BSI方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2019年8月20日	106.56	20,677.22
(今回) 2019年11月8日	109.03	23,391.87

概況

埼玉県内企業の業況感は、悪化している。今回調査(2019年10～12月期)の業況判断BSIは、-15と前回調査(7～9月期)比マイナス幅が9ポイント拡大している。

規模別にみると、「規模の大きい企業」(従業員100人以上)が4～6月期以来のマイナスに転じているほか、「規模の小さい企業」(従業員100人未満)はマイナス幅が拡大している。

業種別にみると、製造業ではマイナス幅が拡大している(前回-15→今回-22)。

紙加工品等、化学・プラスチック・ゴム製品ではプラス幅が拡大した。一方、鉄鋼・非鉄金属、金属製品、電子部品・デバイス、輸送機械、精密機械など素材型および加工組立型の広い業種で、長引く米中貿易摩擦による海外需要の低調持続に、台風災害による受注・生産面への影響も加わり悪化している。

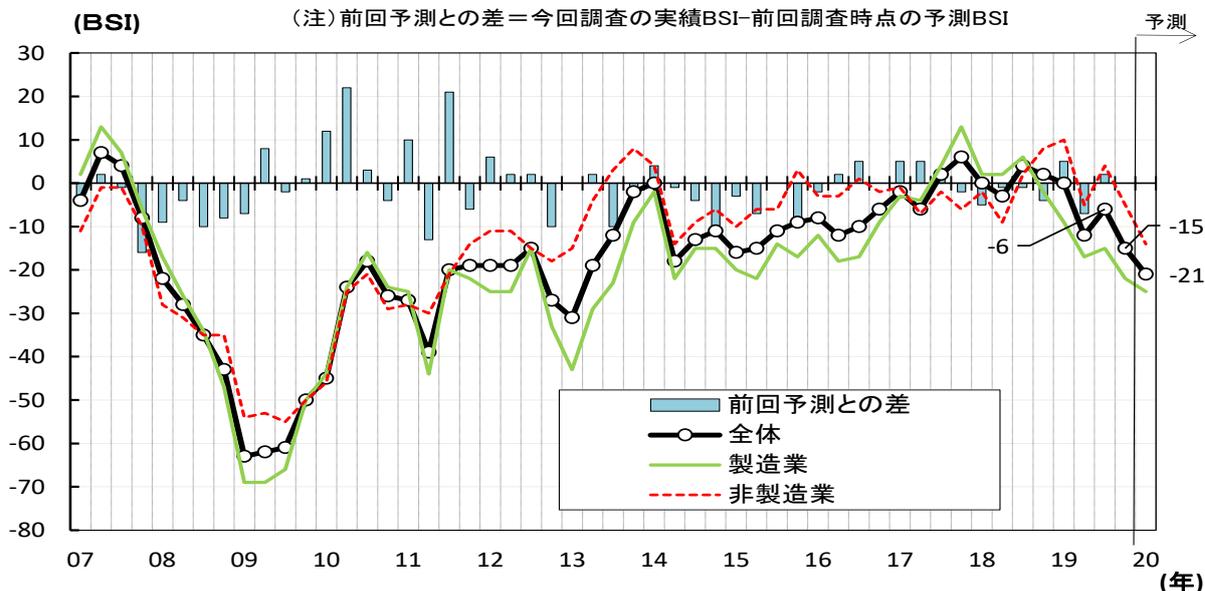
非製造業では、運輸・倉庫、不動産の悪化からマイナスに転じている(前回4→今回-5)。

先行き(2020年1～3月期)の業況判断BSIは、-21とマイナス幅が拡大する見通し。

業種別にみると、製造業では、金属製品、一般機械、電子部品・デバイス、輸送機械、印刷・同関連などで停滞が続くとの見方にある(今回-22→先行き-25)。

非製造業では、住宅建設、卸売、小売、不動産などで消費増税後の個人消費の先行き不透明感などを懸念し、マイナス幅が拡大する見通し(今回-5→先行き-14)。

図表1. 業況BSIの推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) ~ マイナス幅が拡大 ~

埼玉県内企業の業況感は、悪化している。今回調査(2019年10~12月期)の業況判断 BSI は、-15 と前回調査(7~9月期)比マイナス幅が9ポイント拡大している。

規模別にみると、「規模の大きい企業」(従業員100人以上)が4~6月期以来のマイナスに転じているほか、「規模の小さい企業」(従業員100人未満)はマイナス幅が拡大している。

業種別にみると、製造業では、マイナス幅が拡大している(前回-15→今回-22)。紙加工品等、化学・プラスチック・ゴム製品ではプラス幅が拡大した。一方、鉄鋼・非鉄金属、金属製品、電子部品・デバイス、輸送機械、精密機械など素材型および加工組立型の広い業種で、長引く米中貿易摩擦による海外需要の低調持続に、台風災害による受注・生産面への影響も加わり悪化している。

非製造業では、運輸・倉庫、不動産の悪化からマイナスに転じている(前回4→今回-5)。

図表2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2018年			2019年				前回予想	2020年 1~3月 (先行き)
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
全体	-3	4	2	0	-12	-6	-15	-15	-21
規模の小さい企業	-2	6	-1	-3	-13	-14	-17	-16	-26
規模の大きい企業	-4	3	6	2	-10	2	-12	-15	-15
製造業	2	6	-2	-9	-17	-15	-22	-20	-25
規模の小さい企業	0	8	-1	-8	-16	-25	-25	-23	-30
規模の大きい企業	3	3	-2	-9	-18	-2	-18	-16	-20
素材型	0	0	0	-13	-16	-6	-13	-17	-23
紙加工品等	0	0	-18	-56	8	9	18	0	-27
化学・プラスチック・ゴム製品	13	33	0	-13	-13	18	27	9	27
鉄鋼・非鉄金属	-11	-17	-10	-11	-25	-11	-33	-22	-11
金属製品	40	20	30	30	-43	-20	-50	-50	-75
その他素材型	-36	-30	0	-20	-20	-27	-38	-27	-38
加工組立型	4	19	4	-2	-27	-32	-36	-36	-33
一般機械器具	29	42	58	31	-9	-30	-9	-50	-27
電気・情報通信機械器具	9	9	-33	-25	-70	-40	-10	-20	0
電子部品・デバイス	-20	45	-9	-22	-36	-88	-90	-63	-70
輸送機械	-27	-9	0	-20	-20	-20	-44	-60	-67
精密機械	29	0	0	29	14	33	-20	33	20
生活関連型	-6	-22	-20	-7	7	-14	0	7	-7
飲・食料品	11	0	-11	13	13	0	13	43	13
印刷・同関連業	-22	-50	-33	-29	0	-29	-17	-29	-33
その他製造業	25	33	-33	-67	0	40	-67	20	-33
非製造業	-9	2	8	10	-5	4	-5	-10	-14
100人未満	-5	2	0	4	-10	2	-5	-5	-19
100人以上	-14	2	15	16	0	6	-5	-14	-10
一般建設	-6	21	6	11	13	17	10	17	-14
住宅建設	-29	0	-13	14	-14	-17	20	-50	0
卸売	0	0	15	0	-20	0	22	-13	0
小売	-24	-5	-6	10	-21	-5	-5	-30	-21
運輸・倉庫	0	0	33	25	0	13	-17	-13	0
不動産	0	0	43	0	0	0	-29	0	-29
その他非製造業	-7	-6	-6	13	13	10	-29	0	-18

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業でマイナスに転化～

製造業では、素材型、加工組立型でマイナス幅が縮小しているほか、生活関連型でプラスに転じている。一方、非製造業では、小売、不動産でマイナスに転じている。先行きは、製造業でマイナス幅が拡大する見通しである。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 19年4～6月期	(前回調査) 19年7～9期	(今回調査) 19年10～12月期	(先行き) 20年1～3月期
全体	-3	-5	-1	-7
製造業	-4	-18	-1	-11
非製造業	-1	11	-1	-2
規模の小さい企業	-3	-9	-2	-9
規模の大きい企業	-2	-1	0	-5

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業でマイナスに転化～

製造業では、素材型、加工組立型、生活関連型ともに改善している。一方、非製造業では、一般建設、小売、不動産でマイナスに転化している。先行きは、製造業でマイナス幅が拡大する見通しである。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 19年4～6月期	(前回調査) 19年7～9期	(今回調査) 19年10～12月期	(先行き) 20年1～3月期
全体	-10	-9	-8	-9
製造業	-6	-23	-10	-18
非製造業	-15	7	-5	2
規模の小さい企業	-10	-15	-9	-11
規模の大きい企業	-11	-3	-6	-8

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の素材型でマイナスに転化～

製造業では、加工組立型でプラスに転じている。一方、素材型では、金属製品、化学・プラスチック・ゴム製品などの悪化からマイナスに転化している。先行きは、製造業で、素材型、加工組立型の改善からプラスに転じる見通しである。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 19年4～6月期	(前回調査) 19年7～9期	(今回調査) 19年10～12月期	(先行き) 20年1～3月期
全体	0	1	-3	4
製造業	-2	1	-3	7
非製造業	5	2	-3	-3
規模の小さい企業	1	-1	-11	3
規模の大きい企業	-2	5	5	5

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～不足感が弱まっている～

製造業では、化学・プラスチック・ゴム製品、電気・情報通信機械器具、精密機械で、非製造業では、一般建設、小売りで、不足感が弱まっている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 19年 4～6 月期	(前回調査) 19年 7～9 期	(今回調査) 19年 10～12 月期	(先行き) 20年 1～3 月期
全体	-10	-5	1	0
製造業	-7	-3	2	2
非製造業	-14	-9	-1	-3
規模の小さい企業	-10	-4	4	2
規模の大きい企業	-10	-7	-3	-2

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～強い人手不足感が製造業、非製造業ともに持続～

製造業、非製造業ともに人手不足感が強い状況が続いている。特に、飲・食料品や一般建設、運輸・倉庫、卸売で不足感が顕著となっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 19年 4～6 月期	(前回調査) 19年 7～9 期	(今回調査) 19年 10～12 月期	(先行き) 20年 1～3 月期
全体	-34	-36	-39	-38
製造業	-19	-21	-24	-22
非製造業	-54	-55	-58	-58
規模の小さい企業	-30	-34	-36	-37
規模の大きい企業	-39	-38	-42	-40

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～総じて緩和～

全体として緩和されている状況が続いているが、非製造業で「楽」とする割合が縮小している。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 19年 4～6 月期	(前回調査) 19年 7～9 期	(今回調査) 19年 10～12 月期	(先行き) 20年 1～3 月期
全体	9	9	5	6
製造業	7	5	7	9
非製造業	11	13	2	1
規模の小さい企業	1	4	-5	1
規模の大きい企業	18	14	17	11

以 上